

2019 年度

第 16 回「長野県高校生 英語スピーチ・レシテーション コンテスト」実施要領

目的： 高校生の英語学習への動機を高め、広い地域に及ぶ高校生が互いの体験、考えや心情を英語で発表しあう機会と場を提供することにより、高等学校英語教育の目標の一つである「英語による表現力」の育成を支援する。

主催： 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学

後援（予定）： 長野県、長野県教育委員会、信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、信濃教育会

日時*： 2019 年 11 月 17 日（日） 13：00 ～17：00

Opening Ceremony:	13:00 - 13:15
Recitation Division:	13:15 - 14:30
Speech/Presentation Division:	14:50 - 15:50
Closing Ceremony:	16:15 - 17:00

*応募人数により、多少の時間変更を行います。応募締切後に送付するプログラムのスケジュールが最終となります。

場所： 清泉女学院大学 F301 教室

内容：

第一部 《レシテーション・コンテスト》

- (1) 主催者から事前に与えられた 3 つの課題の内から 1 つを選んで朗読する。
- (2) 1 人 3 分程度

第二部 《スピーチ/プレゼンテーション・コンテスト》

- (1) テーマ: *My Japanese culture* - 自分の経験を踏まえ、(伝統的、または現代の) 日本文化の紹介をする。[詳細は、次ページの Presentation Guidelines を参照]
- (2) 1 人 4 分以内。4 分超過の場合はスコア減点
- (3) 4 枚 (表紙を含めると 5 枚) の PowerPoint のスライドを使用しながらプレゼンテーションを行う。表紙スライドには、「タイトル・高校名・氏名」のみとし、写真は入れない。
・表紙以外の 4 枚のスライドの中には、写真、文言をいくつ入れてもよい。また、写真を重ねて、重ねられた写真が見えなくなる程度であれば、アニメーションをかけてもかまわない。しかし、コンテストの主な対象となるのは、PowerPoint の構成ではなく、Speech の内容であることに注意。
- (4) PowerPoint で使用する画像は、静止画像のみ。動画、音声添付は不可。

■ 応募資格： 高校生の男女（英語を母語としない者）

1 校 2 名以内 (speech と recitation 合わせて 2 名以内)

<注意>過去に、本コンテストの「レシテーション」部門への参加経験者は、「スピーチ・プレゼンテーション」部門には参加可能であるが、「レシテーション」部門には参加不可。

■ 応募方法：

コンテスト応募者は、清泉女学院大学・短期大学ホームページ(<http://www.seisen-jc.ac.jp>)の申し込みフォームをダウンロードし、必要事項を記入して、清泉女学院大学 教務学生部内 コンテスト係 (sjc-speechcontest@sjc-nagano.ac.jp) にメールする。

(1) Recitation 部門の場合は、3 種類の指定課題から番号を選択して記す。

(2) Speech 部門の場合は、①Script と②PowerPoint File を添付してメール送信する。

■ 応募・送付締切：

「応募用紙」の送付	10月15日(火)
・Recitationの録音音声ファイル(応募者が多かった時のみ)* ・PresentationのPowerPoint FileとScriptの送付	11月5日(火) 厳守

(*「レシテーション」部門への応募者が18人を超える場合には、事前に「録音音声ファイル」による予選を実施。当日は、予選通過者による本選を行う。)

注意：参加生徒と引率の先生方は、この「実施要領」を読んだ上で、準備にかかってください。質問がある場合は、遠慮なく、清泉女学院 コンテスト係までお問い合わせください。

■ 表彰：

	Speech/Presentation contest	Recitation contest
長野県知事賞	1位 1名 カップ・賞状/副賞(図書券)	1位 1名 カップ・賞状/副賞(図書券)
長野県教育委員会賞	2位 1名 盾・賞状/副賞(図書券)	2位 1名 盾・賞状/副賞(図書券)
信濃毎日新聞社賞	3位 1名 盾・賞状/副賞(図書券)	3位 1名 盾・賞状/副賞(図書券)

■ 審査基準：

(1) Recitation Contest

- ① 所要時間は約3分。
- ② 選択課題の原稿と異なる内容の場合は、失格となる。
- ③ 原稿の持ち込みは可能とする。
- ④ 評価の観点と配点は右記の通り。
- ⑤ ワイヤレスマイクを使用して、ステージ上で移動することは可能とする。

評価の観点		配点
理解と表現	(Interpretation & Expression)	40
発音	(Pronunciation)	40
暗唱	(Memorization)	20

(2) Speech/Presentation Contest

- ① 所要時間は、4分以内(厳守)。4分超過の場合はスコア減点。
- ② 予め提出した原稿とスピーチの内容が著しく異なる場合は、失格となる。
- ③ 原稿の持ち込みは可能とする。
- ④ 評価の観点と配点は右記の通り。
- ⑤ ワイヤレスマイクを使用して、ステージ上で移動することは可能とする。

評価の観点		配点
内容と構成	(Contents & Organization)	40
発音	(Pronunciation)	20
スピーチと暗唱	(Expression, Delivery & Memorization)	40

■ Presentation guidelines:

- 目的：自分の経験を踏まえ、(伝統的、または現代の)日本文化の紹介をする。
- 対象：日本を訪れる外国人を対象としたプレゼンテーションを行う。
- 内容：日本文化をひとつ紹介する(ひな祭り、正月、お盆、七夕、アニメ、塾、プリクラなど)。選択した文化の概要を含めること(歴史や背景など)。オリジナリティのある内容にすること(具体的な例や自分の経験などを含める)。
- Purpose: Use personal experience to introduce one aspect of Japanese culture or a custom.
- Audience: Imagine you are speaking with foreign visitors to Japan.
- Content: One aspect of traditional or modern Japanese culture.
 - ◇ General information about this topic, including history and background.
 - ◇ Personalize this topic. Share your experience. You might show how this aspect of culture is seen by your community or within your family.

【お問い合わせ】

〒381-0085 長野市上野 2-120-8 URL: <http://www.seisen-jc.ac.jp>
 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学 教務学生部内 英語コンテスト係
 Tel: 026-295-1312 Mail: sjc-speechcontest@sjc-nagano.ac.jp